

点字と展示をつなぐ

さわる文化が 切り開く 共生社会の未来

近年、展示物にさわるができるユニバーサル・ミュージアムが各地に広がっています。

さわる展示の発展には、点字を使用する視覚障害者の発想が不可欠です。

点字と展示をつなぐ仕事を続けてきた講師の人生を振り返りながら、大阪発の共生社会の可能性について考えます。

講演会 入場無料

■と き 3月15日(日) 14:00~16:00

■ところ 富田林市立中央公民館

■定 員 50名(申込多数の場合抽選)

■講 師 広瀬 浩二郎(国立民族学博物館 教授)

広瀬浩二郎(ひろせ・こうじろう)

国立民族学博物館 人類基礎理論研究部 教授。自称「座頭市流フィールドワーカー」、または「琵琶を持たない琵琶法師」。

1967年、東京都生まれ。13歳の時に失明。筑波大学附属盲学校から京都大学に進学。2000年、同大学院にて文学博士号取得。専門は日本宗教史、触文化論。「ユニバーサル・ミュージアム」(誰もが楽しめる博物館)の実践的研究に取り組み、「触」をテーマとする各種イベントを全国で企画・実施している。

2023年12月には「令和5年度文化庁長官表彰」を受ける。

お申込み・お問い合わせ

通常はがきに①講座名 ②氏名(ふりがな) ③住所 ④電話番号 ⑤年齢(学年)を記入して、中央公民館にお申込みください。

各公民館(中央・金剛・東)窓口でのお申込みの場合は、所定の用紙にご記入いただきますので、はがきは必要ありません。

インターネットでのお申し込みも可能です

<https://logoform.jp/form/SMkm/1335600>

上記URL、またはQRコードからお申し込みください。



* 申込締切 *

2026年3月3日

富田林市立中央公民館

〒584-0093 富田林市本町16番28号

☎:0721-24-3333

裏面もご覧ください



【図書館での本が読みづらい方へのサービス】

図書館では、本の文字が読みづらいと感じている方が読書を楽しめるようお手伝いをしています。

- ①大活字本…単行本や文庫本と比べて大きな活字を使っているため読みやすいです。冊数は多くなりますが、ぜひ一度手に取ってお試し下さい。
- ②朗読や落語のCD…耳からの読書もお楽しみください。
- ③L L ブック…知的障がいや自閉症、学習障がいなど通常の活字図書の利用が困難な人にも理解できるように、図や写真を多用するなどの工夫をされた本のことです。図書館の利用案内もL L ブック版があります。
- ④対面朗読…依頼者のご希望の本や資料などを対面で朗読します。
中央図書館で実施しており、事前に申込が必要です。
- ⑤大人のための朗読会…朗読を聞いて文学を楽しむ行事も開催しています。



LLブック版利用案内



拡大読書器
(※金剛図書館のみ)

老眼鏡や虫めがね、拡大読書器※などもご用意していますので、カウンター職員にお申し出ください。
(※金剛図書館のみ)

**また、2月8日（日）～3月15日（日）の期間、
点字絵本を展示します。（場所：中央図書館）**

ぜひ、実際に手に取ってみてください。貸出も可能です。

※点字絵本は他にもあります。



富田林市立中央図書館

〒584-0093 富田林市本町16番28号

☎：0721-25-4921

富田林市立金剛図書館

〒584-0072 富田林市高辺台2丁目1番2号

☎：0721-28-1171